

1/29 (火) ~1/30 (水) の行事



報道発表資料の配付日時 1月18日 (金) 14時00分

発表項目 (行事名)	第5回 ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道内の集落では、人口減少や高齢化の進行などに伴い、コミュニティ機能の低下など、様々な問題の深刻化が懸念されています。集落で安心して暮らし続けるために必要なことを、集落にお住まいの方々と、集落に力を貸してくれる様々な方々が一緒に考え、情報交換や親交を深めるため、次のとおり交流大会を開催します。</p> <p>1 日時 平成31年1月29日 (火)・30日 (水)</p> <p>2 会場 TKP札幌駅カンファレンスセンター (札幌市北区北7条西2丁目9)</p> <p>3 プログラム (別紙チラシのとおり) ◆29日 (火): 基調講演、事例発表、交流会 ◆30日 (水): 分科会 (①地域資源活用 ②生活支援 ③地域交通)、ふるさとづくり相談会</p> <p>4 参加対象等 定員150名 どなたでも無料で参加できます。(1日目の交流会のみ、会費制 (3,500円))</p> <p>5 申し込み方法等 添付のチラシに必要事項を記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。メールでお申し込みの場合は、必要事項をメール本文に記載してください。大会前日まで申込を受け付けます。</p> <p>6 大会ホームページ http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/shuuraku/kouryutaiikai30.htm</p>		
参考	<p>○1日目は、(一社)持続可能な地域社会総合研究所の藤山 浩所長に「地元人口と循環を取り戻す～田園回帰の時代」と題して講演いただくほか、道内で積極的に集落対策に取り組んでいる団体による事例発表を行います。</p> <p>○2日目は、3つのテーマで分科会を行った後、集落の課題について有識者に相談できる「ふるさとづくり相談会」を開催します。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>道内各地域で集落対策や地域づくりに取り組む方々が一堂に会する大会です(昨年度は両日延べ約190名参加)。本年度も多くの方にご参加いただき、集落対策が促進されるよう、積極的な情報発信をお願いいたします。</p> <p>また、当日の取材もよろしく願いいたします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所) 道政記者クラブ、各(総合)振興局記者クラブ	
担当窓口	<p>(問合せ先) 総合政策部 地域振興局 地域政策課 地域活力G (担当: 高橋・草野) TEL 011-204-5791 (ダイヤルイン) (内線23-477) FAX 011-232-1126 E-mail sogo.chiseil@pref.hokkaido.lg.jp</p> <hr/> <p>オホーツク総合振興局 地域創生部 地域政策課長 尾崎 匡 TEL 0152-41-0618 (ダイヤルイン)</p>		

ほっかいどう

元気なふるさとづくり交流大会

入場
無料

定員
150名

平成31年1月29日火・30日水

TKP札幌駅カンファレンスセンター（札幌市北区北7条西2丁目9）

14:00～15:30 講演（3階カンファレンスルーム3B）

地元へ人口と循環を取り戻す

～田園回帰の時代

講師

藤山 浩 氏（一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長）

1959年島根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。
広島県・県立高校社会科教諭、株式会社 中国・地域づくりセンター主任研究員、ニュージーランド留学、広島大学大学院国際協力研究科等を経て1998年島根県中山間地域研究センター 地域研究課研究員着任。2004年同センター地域研究グループ科長。2009年島根県立大学連携大学院教授。2013年島根県中山間地域研究センター研究統括監。2017年「一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所」設立、所長就任。
現在、益田市に、日本一の清流・高津川の河畔の岩山に新居を構え、田園生活中。冬は29年間にわたり、100%薪ストーブで暖房。毎年6トンの薪割りが趣味。



15:40～17:10 事例発表（3階カンファレンスルーム3B）

○先進的な取組の事例発表から、集落対策を学ぼう！

プレゼンター

- ・「地域資源を活かした集落づくり」
NPO法人 グラウンドワーク西神楽（事務局長 成田 敬 氏）
- ・「地域の暮らしを地域で支える」
NPO法人 えんべつ地域おこし協力隊（理事 原田 啓介 氏）
- ・「ICTを活用した新たな地域モビリティ」
天塩町役場総務課（地方創生係長 相馬 卓朗 氏）

コメンテーター

- ・藤山 浩 氏
- ・元気なふるさとづくり研究会（※） 委員

※元気なふるさとづくり研究会
北海道内の集落における課題解決に向けて、調査・研究及び必要な支援施策などを検討するために北海道が設置した研究会。
（委員については裏面参照）

17:30～19:00 交流会（3階カンファレンスルーム3A）

・立食パーティー（会費制）

9:00～10:50 分科会（カンファレンスルーム2B、2H、3F）

○前日のプレゼンターを交えた参加者全員による意見交換で、集落対策を深掘りしよう！

分科会①
地域資源活用

- ・ファシリテーター：石塚 雅明 氏（(株)石塚計画デザイン事務所 顧問）
- ・オブザーバー：NPO法人 グラウンドワーク西神楽（事務局長 成田 敬 氏）

分科会②
生活支援

- ・ファシリテーター：松村 博文 氏
（(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 地域研究部長）
- ・オブザーバー：NPO法人 えんべつ地域おこし協力隊（理事 原田 啓介 氏）

分科会③
地域交通

- ・ファシリテーター：鈴木 聡士 氏（北海学園大学 工学部 生命工学科 教授）
- ・オブザーバー：天塩町役場総務課（地方創生係長 相馬 卓朗 氏）

11:00～12:00 ふるさとづくり相談会（カンファレンスルーム2B）

・元気なふるさとづくり研究会委員による相談会

主催：北海道

29
日

30
日

講師等紹介

事例発表



◆NPO法人グラウンドワーク西神楽（事務局長 成田 敬 氏）

旭川市西神楽地区において、地域住民・地域内の各種団体・企業ならびに行政が、パートナーシップに基づき、地域の環境改善と地域の活性化のため、地域資源の活用や景観・環境を考慮した「まちづくり」事業や地域に根ざした「仕事づくり」事業などの各種事業に取り組むための体制づくりに対し、助言、援助、実践活動などを行う。



◆NPO法人えんべつ地域おこし協力隊（理事 原田 啓介 氏）

遠別町では2011年から地域おこし協力隊が活動を開始し、地域活性化のための様々な活動を行ってきたが、任期終了後も継続して活動を行うために2014年にNPO法人を設立。高齢者・障がい者の生活支援や移住交流事業、遠別農業高等学校の支援など様々な地域おこし活動を行う。



◆天塩町役場総務課（地方創生係長 相馬 卓朗 氏）

地方創生の取組として、地方創生関連交付金を活用し、ICTを活用した相乗り交通事業「notteco（ノッテコ）」や、地域の食資源の活用を図る「天塩國（てしおのくに）眠れる食資源活用プロジェクト」などの様々な事業を展開。道内の自治体で唯一の「シェアリングシティ」の認定を受ける。

元気なふるさとづくり研究会

委員



<分科会①ファシリテーター> 石塚 雅明 氏 ((株)石塚計画デザイン事務所 顧問)

北海道大学大学院工学研究科修了。柳田石塚建築計画事務所を設立し、2002年に(株)石塚計画デザイン事務所代表取締役、2017年には同社顧問に就任。まちづくりプランナーとして、地区の構想や計画の策定、地域コミュニティの形成サポート等を行うほか、まちづくりに関わる住民や行政職員向けの研修会も数多く実施している。



<分科会②ファシリテーター> 松村 博文 氏 ((地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 地域研究部長)

北海道大学大学院工学研究科修了。北海道庁に入庁。2015年から現職。公営住宅を活かしたまちづくりや住み替えの促進など、まちづくりに関する調査研究を行い、自治体のまちづくり施策に反映できる成果を上げているほか、空き家を活用した集住化の取組や地域コミュニティの活性化に向けた手法の開発などに専門的な知見を有する。



<分科会③ファシリテーター> 鈴木 聡士 氏 (北海学園大学 工学部 生命工学科 教授)

北海学園大学大学院工学研究科修了。札幌大学経済学部専任講師、アムステルダム自由大学客員研究員を経て、2013年から現職。自治体における地域公共交通の検討に深く関わり、地域に適した生活交通確保のあり方を探るなど、地域交通に関する専門的な知見を有する。



杉岡 直人 氏 (北星学園大学 社会福祉学部 教授)

北海道大学大学院文学研究科修了。北海道大学助手を経て1981年北星学園大学専任講師、1994年より同教授となり現在に至る。NPO活動に関わり、NPOへの貸し付けを専門とする日本初のNPO「北海道NPOバンク」の設立と運営やNPO推進北海道会議の運営に関わるほか、障がい者及び高齢者の就労のあり方問題の研究などに取り組む。



原 文宏 氏 ((一社)北海道開発技術センター 地域政策研究所 所長)

自宅から目的地までのモビリティ、アクセシビリティに関する造詣が深く、実際に交通手段の確保が困難となっている地域で課題解決に取り組むなど、地域交通に関する専門的な知見を有する。



吉岡 宏高 氏 (札幌国際大学 観光学部 国際観光学科 教授)

札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科修了。市民参加型の政策づくりや、北海道地域づくりアドバイザーとして地域の自立的な活動を支援するための活動を展開するなど、協働によるまちづくりに関して専門的な知見を有する。まちづくり論は、現実社会と密接に関わる分野であり、「理論」と「実践」の相互を行き来することを通じて本質を理解できるという考えから、実践的な市民活動を展開している。



井上 誠司 氏 (酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授)

東京農工大学大学院博士課程中退。北海道における農業の担い手、農地利用の動向や限界地における地域農業対応などに関する専門的な知見を有する。また、酪農・畜産地帯における支援システム導入などの研究を行う。

※ファシリテーター以外の委員につきましては、都合により欠席する場合がありますので、予めご了承ください。

◆参加申込書 (参加するプログラムにチェック)

年 月 日

○必要事項を記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。

○メールでのお申し込みの場合は、必要事項をメール本文に記載してお送りください。

1日目 (29日)	<input type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> 事例発表 <input type="checkbox"/> 交流会 (会費：3,500円)
2日目 (30日)	<input type="checkbox"/> 分科会 (分科会① ・ 分科会② ・ 分科会③) 第1希望【 】 第2希望【 】 ※申込み状況により第2希望とさせていただきます。
	<input type="checkbox"/> ふるさとづくり相談会 相談したい集落の課題等がありましたらお書きください。 希望の相談員がいましたら、併せて記入してください。
	希望相談員 _____ 委員 _____
氏名：	所属：
電話：	E-mail：

お申し込み・問い合わせ先

北海道総合政策部地域振興局地域政策課
地域活力グループ 担当：草野

TEL：011-204-5791 (直通)

FAX：011-232-1126

E-Mail：sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

<ホームページ>

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/shuuraku/kouryutaikai30.htm



会場アクセス



T K P 札幌駅前ファリスセンター
(札幌市北区北7条西2丁目9)

<最寄駅>

○JR札幌駅 北口 徒歩2分

※T K P 札幌駅前ファリスセンターとは別会場ですのでご注意ください。